



平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エニグモ  
コード番号 3665 URL <http://www.enigmo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 共同最高経営責任者 (氏名) 須田 将啓  
(役職名) 代表取締役 共同最高経営責任者 (氏名) 田中 禎人  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートオペレーション本部長 (氏名) 金田 洋一  
TEL (03) 5775-4760

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の業績(平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	969	—	367	—	358	—	241	—
24年1月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	145 46	119 08
24年1月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益は当該併合調整後の数値を記載しております。
2. 当社は、平成24年1月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年1月期第3四半期の数値及び平成25年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
3. 当社は、平成24年7月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は新規上場日から当第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年1月期第3四半期	2,012	—	1,174	—	58.3
24年1月期	1,125	—	631	—	56.1

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 1,174百万円 24年1月期 631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年1月期	—	0 00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,261	48.1	413	101.4	404	96.0	268	9.0	156 28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期3Q	1,915,400株	24年1月期	1,497,400株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	一株	24年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期3Q	1,659,103株	24年1月期3Q	一株

(注) 当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、当事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の世界経済は、米国では住宅関連の業況が改善したことや、雇用情勢の改善を背景に個人消費が増加したことなどにより緩やかな回復基調となりました。新興国経済では、中国の輸出が回復し、また、ASEANでは輸出が減速傾向にあるものの内需の拡大により堅調に拡大いたしました。一方で、欧州債務問題によりユーロ圏は依然として低迷が続き、全体として景気の減速の動きが広がり、弱い回復となりました。

こうした世界景気の減速や外交不安等を受け、日本経済においては、引き続き東日本大震災後の復興需要等が拡大しているものの、依然として先行き不透明な状況が続きました。

一方で、インターネット業界では、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及によりインターネットの利用者数が継続して増加する中、EC市場は引き続き堅調に拡大いたしました。

このような状況の中、当社は基幹事業であるソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」において、より多くの皆様にご利用いただけるショッピングサイトの提供を目指し、スマートフォン向け機能の向上や、安心にお取引していただくための取り組みを継続的に行う等、更なるサービスの拡充に注力してまいりました。

また、シーズナリティに合わせた商品ラインナップの充実にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間において、「BUYMA」登録会員数は100万人を突破し、売上高は969,033千円、営業利益は367,155千円、経常利益は358,997千円となり、四半期純利益は241,331千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産合計

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて886,840千円増加し、2,012,315千円となりました。これは主として、「BUYMA」における会員間取引の拡大により現金及び預金が986,525千円増加したこと、また税引前四半期純利益の計上に伴い、繰越欠損金等に係る繰延税金資産116,931千円を取崩したことによるものであります。

#### ②負債合計

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて344,030千円増加し、838,252千円となりました。これは主として、「BUYMA」における会員間取引の拡大等により預り金が347,288千円増加したことによるものであります。

#### ③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて542,809千円増加し、1,174,062千円となりました。これは公募増資及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ150,739千円増加したこと、また四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が241,331千円増加したことによるものであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

#### 1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第 1 四半期会計期間より、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第 2 号 平成 22 年 6 月 30 日)、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 4 号 平成 22 年 6 月 30 日公表分)及び「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 9 号 平成 22 年 6 月 30 日)を適用しております。

3. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	939,169	1,925,694
売掛金	26,659	42,819
前払費用	1,445	3,943
繰延税金資産	121,195	4,985
その他	90	—
流動資産合計	1,088,560	1,977,443
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,741	3,683
工具、器具及び備品（純額）	4,212	7,857
有形固定資産合計	7,954	11,540
無形固定資産		
ソフトウェア	18,029	12,612
その他	18	18
無形固定資産合計	18,048	12,631
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,561	839
敷金及び保証金	9,351	9,861
投資その他の資産合計	10,913	10,701
固定資産合計	36,915	34,872
資産合計	1,125,475	2,012,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,086	279
未払金	31,426	21,294
未払費用	2,885	—
未払法人税等	1,867	3,040
未払消費税等	14,350	23,042
預り金	435,826	783,115
ポイント引当金	1,204	4,061
流動負債合計	488,647	834,834
固定負債		
長期未払金	5,574	3,418
固定負債合計	5,574	3,418
負債合計	494,222	838,252

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 1 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成24年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	184, 820	335, 559
資本剰余金	194, 391	345, 130
利益剰余金	252, 041	493, 373
株主資本合計	631, 253	1, 174, 062
純資産合計	631, 253	1, 174, 062
負債純資産合計	1, 125, 475	2, 012, 315

(2) 【四半期損益計算書】  
【第 3 四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年10月31日)
売上高	969,033
売上原価	215,373
売上総利益	753,660
販売費及び一般管理費	386,505
営業利益	367,155
営業外収益	
受取利息	181
為替差益	565
不用品処分益	149
講演料・原稿料等収入	258
受取損害金	1,000
債務消滅益	729
その他	199
営業外収益合計	3,083
営業外費用	
株式交付費	2,366
株式公開費用	8,772
その他	102
営業外費用合計	11,241
経常利益	358,997
税引前四半期純利益	358,997
法人税、住民税及び事業税	734
法人税等調整額	116,931
法人税等合計	117,666
四半期純利益	241,331



（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間において、一般募集（ブックビルディング方式による募集）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ96,600千円増加し、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ20,769千円増加しております。また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ33,370千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が335,559千円、資本準備金が274,759千円となっております。

（5）重要な後発事象

該当事項はありません。